

# 声をあげて泣く

——私の処女出版

山之口獏

青空文庫



かつて、「むらさき」という雑誌があつた。国文学の關係の雑誌で、時々、ぼくの詩を載せてくれたが、編集長の小笹功氏のあつせんで、昭和十三年の八月に、詩集『思弁の苑』を出した。發行所は、むらさき出版部で、神田の巖松堂書店のなかにあつた。詩集の卷頭に、佐藤春夫、金子光晴両氏の序詩、序文を飾つた。なにしろ、郷里の沖繩を出て十六年目ぐらいのことではあり、結婚したばかりのことではあり、生れてはじめて手にしてみた印税という金であつたりしたせいでもあつたらうが、なによりもまず、最初の詩集であつたことが、ぼくをして声はりあげさせて泣かせたのであつた。ここで、ペンをおいて、「そろそろまた詩集を出

したくなつた。」と、傍にいる女房に話しかけたところ、女房のヤツもあのときのことを覚えていたと見えて、「詩集を出してまた泣きな。」と言いやがった。

（「東京新聞」一九五四年一月二七日）

# 青空文庫情報

底本：「山之口貌詩文集」講談社文芸文庫、講談社

1999（平成11）年5月10日第1刷発行

底本の親本：「山之口貌全集 第三卷」思潮社

1976（昭和51）年5月1日

初出：「東京新聞」

1954（昭和29）年12月27日

入力：kompass

校正：門田裕志

2014年1月2日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 声をあげて泣く

——私の処女出版

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

著者 山之口貌

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>